

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 3 月 1 日

事業所名 スタジオそら学芸大学

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	2	5	0	利用定員は法令上は適正人数ではあるが、同時間帯の利用人数によっては狭く感じることがあるため、スペースや運動量を確保できるように努める。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	0	0	法令上の配置数は満たしている。引き続き、支援の充実化を図る。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	0	建物の構造上、完全なバリアフリーは難しい。引き続き、子どもに分かりやすいスタジオ内部の構造化を進める。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	6	1	0	目標設定への参画や、振り返りのチェック等の強化が必要
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	保護者のニーズを把握し、改善に繋げていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	3	1	整備の上、待合室に設置しているウェブでの掲載はしていない
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	7	第三者評価は実施していない
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	研修の機会が増えている。引き続き、支援の充実化を図る。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	放デイ児童の標準的なアセスメントツールがないが、今後研修の上、導入予定
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	0	放デイ児童の標準的なアセスメントツールがないが、今後研修の上、導入予定
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	1	小集団プログラムはチームで立案をしている。個別プログラムは個人検討になりがちのため、社内研修担当者に相談の上、チームでの立案を行っていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	引き続き支援の充実化を図る。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5	1	1	小集団は季節に応じたものを取り入れている。引き続き支援の充実化を図る。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	引き続き支援の充実化を図る。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	3	1	打ち合わせの実施を徹底する。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7	0	0	引き続き支援の充実化を図る。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	引き続き支援の充実化を図る。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	引き続き支援の充実化を図る。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	7	0	0	引き続き支援の充実化を図る。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	基本的には児発管のみとなっているため、必要に応じて発達療育士の参画も進めていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル対応)を適切に行っているか	3	2	2	年間行事予定はインターネットからの情報が主(別途必要があれば保護者に確認している)
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	2	通院先や主治医の情報は把握している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	2	4	就学前に利用していた通園先との情報共有は出来ていないため、必要に応じて情報共有や相互理解等の連携を図るよう努める。
	24	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	0	3	4	前例がない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	0	挨拶周り程度の関係機関もある 研修等はスケジュールの都合上、スタッフの一部しか参加できていないため、今後機会に応じ調整の上、積極的に参加をしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	3	今年度は放デイネットワーク主催の「商店街であそぼう」にねっとわーく参加団体として参加した
	27	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	4	参加していないため、今後参加を検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1	0	引き続き、支援の充実化を図る。 積極的な面談の機会を設ける。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	0	2	5	具体的な実施を行っていない。 講演会等の企画を検討する。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	引き続き、支援の充実化を図る。
	31	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	引き続き、支援の充実化を図る。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	5	固定化利用に向けて保護者会を実施したが、交流を目的とした会は実施していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	引き続き、支援の充実化を図る。
	34	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	ウェブサイトにて公開している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	個人情報の取り扱いへの留意を徹底する。
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	引き続き、支援の充実化を図る。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	3	必要に応じて、行事实施の機会を検討する。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	保護者への周知を強化する。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	保護者への周知を強化する。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	0	全職員の受講ができていないため、早急に研修の機会を設定する。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	3	4	0	対象児童がいない。 引き続き、支援の充実化を図る。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	1	基本的に食事提供はなし。 調理プログラムの前には保護者からアレルギー情報を得ている。医師の診断書はなし。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	3	0	事例に対する対応策の検討が出来ていないため、対応策の検討を行う。